

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

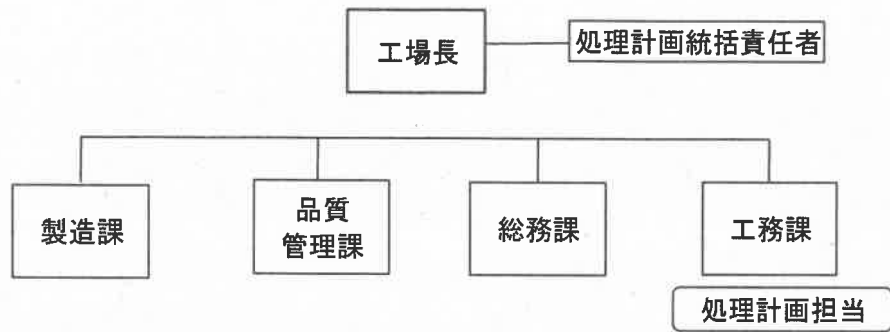
産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月30日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒278-0013	
住 所 千葉県野田市上三ヶ尾字平井256-1	
氏 名 雪印メグミルク株式会社 野田工場	
渡邊 健司	
電話番号 04-7122-1116	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	雪印メグミルク株式会社 野田工場
事業場の所在地	千葉県野田市上三ヶ尾字平井256-1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E09－食料品製造業
② 事業の規模	前年度出荷額 19,484 百円
③ 従業員数	204人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	野田工場 汚泥 廃プラ 動植物性残渣 廃酸 硝子/金属くづ (脱水) 委託処理 中間処理業者 (再利用業者による処理) 委託処理 中間処理業者 (再利用業者による処理)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	5287 t	157.06 t
	（これまでに実施した取組） 廃プラスチックの分別を実施し、有価物への転換を図っている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	5234.13 t	155.49 t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、廃プラスチックの有価物への転換を進め、廃棄物削減を目指す		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラ・紙類・焼却・金属屑・有価物等処分先毎に分別し、処理を実施している
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物から有機物への転換を進め、廃棄物の削減に引き続き取り組みを行う

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまで自社にて再利用を行った実績はない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、自社にて再利用を行う予定はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	5287 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4856.7 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥処理減容化安定稼働を目指し、搬出削減を図っている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	5234.13 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	4808.13 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥処理減容化設備の維持管理に努め、引き続き汚泥の削減を目指す		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) これまで自社にて埋め立て処分・海洋投入処分を行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、自社にて処分を行う予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	430.3t	157.06t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	54.87t
	再生利用業者への処理委託量	430.3t	102.19t
	認定熱回収業者への処理・委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 廃プラスチックの分別を実施し、有価物の転換を図っている		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	426 t	155.53 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	54.36 t
	再生利用業者への 処理委託量	426 t	101.17 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、廃プラスチックの有価物への転換を進め、廃棄物削減を目指す		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑	金属屑					
	排 出 量	68.9 t	4.36 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑	金属屑					
	排 出 量	68.21 t	4.32 t	0 t	t	t	t	t	t

[illegible]

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑	金属屑					
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑	金属屑					
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑	金属屑					
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑	金属屑					
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑	金属屑					
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑	金属屑					
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑	金属屑					
	全処理委託量	68.9 t	4.36 t	0 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	68.9 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	4.36 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑	金属屑					
	全処理委託量	68.21 t	4.32 t	0 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	68.21 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	4.32 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t